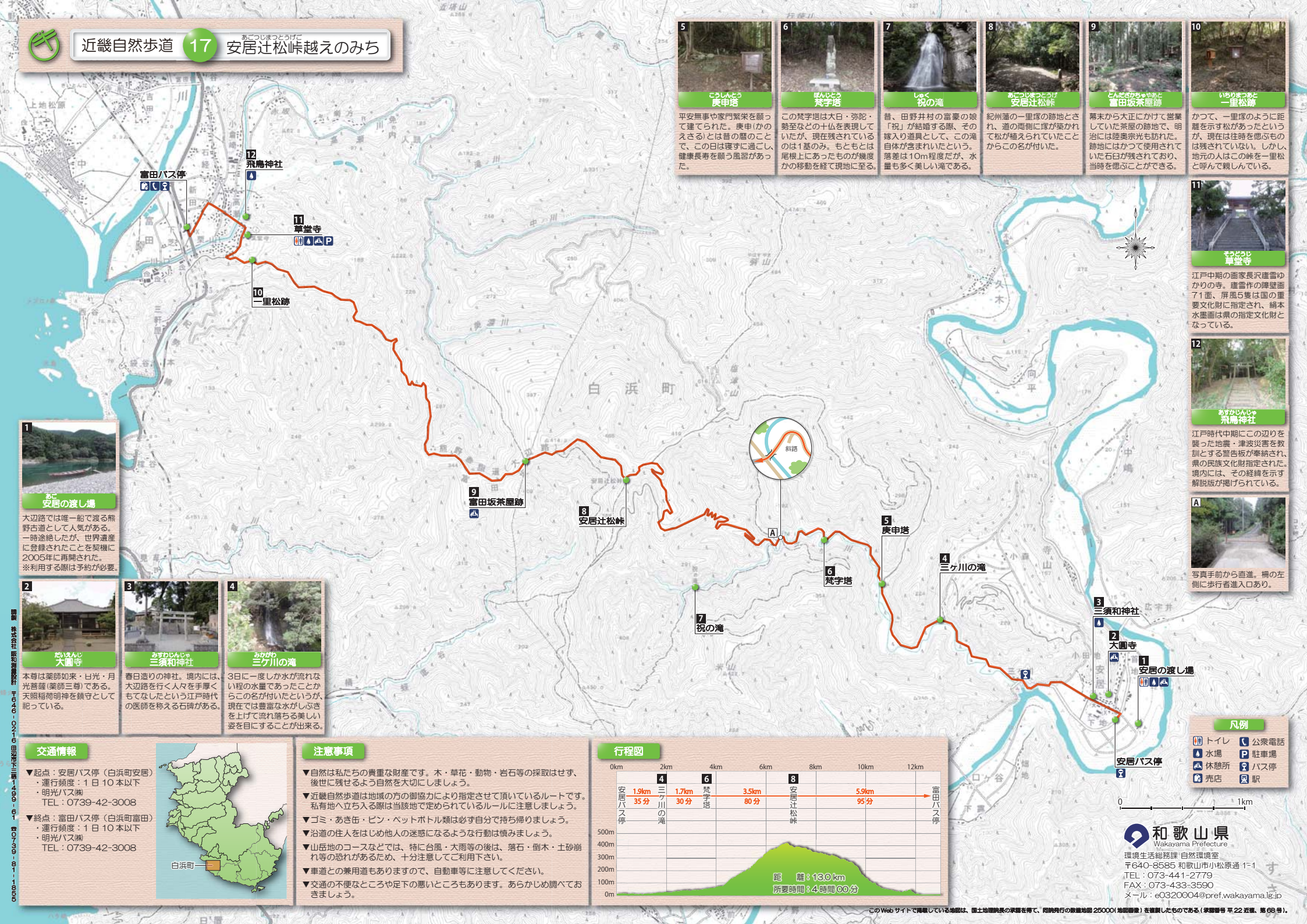
近畿自然歩道 17 安居辻松峠越えのみち



5 庚申塔（こうしんとう）

平安無事や家門繁栄を願って建てられた。庚申（かのえさる）とは昔の暦のことで、この日は寝ずに過ごし、健康長寿を願う風習があった。

6 梵字塔（ぼんじとう）

この梵字塔は大日・弥陀・勢至などの十仏を表現していたが、現在残されているのは1基のみ。もともとは尾根上にあったものが幾度かの移動を経て現地に至る。

7 祝の滝（しゅくのたき）

昔、田野井村の富豪の娘「祝」が結婚する際、その嫁入り道具として、この滝自体が含まれいたという。落差は10m程度だが、水量も多く美しい滝である。

8 安居辻松峠（あごつじまつとうげ）

紀州藩の一里塚の跡地とされ、道の両側に塚が築かれて松が植えられていたことからこの名が付いた。

9 富田坂茶屋跡（とんだざかちゃやあと）

幕末から大正にかけて営業していた茶屋の跡地で、明治には陸奥宗光も訪れた。跡地にはかつて使用されていた石臼が残されており、当時を偲ぶことができる。

10 一里松跡（いちりまつあと）

かつて、一里塚のように距離を示す松があったというが、現在は往時を偲ぶものは残されていない。しかし、地元の人はこの峠を一里松と呼んで親しんでいる。

11 草堂寺（そうどうじ）

江戸中期の画家長沢蘆雪ゆかりの寺。蘆雪作の障壁画71面、屏風5隻は国の重要文化財に指定され、絹本水墨画は県の指定文化財となっている。

12 飛鳥神社（あすかじんじゃ）

江戸時代中期にこの辺りを襲った地震・津波災害を教訓とする警告板が奉納され、県の民族文化財指定された。境内には、その経緯を示す解説版が掲げられている。

A

写真手前から直進。柵の左側に歩行者進入口あり。

1 安居の渡し場（あご）

大辺路では唯一船で渡る熊野古道として人気がある。一時途絶したが、世界遺産に登録されたことを契機に2005年に再開された。
※利用する際は予約が必要。

2 大圓寺（だいえんじ）

本尊は薬師如来・日光・月光菩薩（薬師三尊）である。天照稲荷明神を鎮守として祀っている。

3 三須和神社（みすわじんじゃ）

春日造りの神社。境内には、大辺路を行く人々を手厚くもてなしたという江戸時代の医師を称える石碑がある。

4 三ケ川の滝（みかがわ）

3日に一度しか水が流れない程の水量であったことからこの名が付いたというが、現在では豊富な水がしぶきを上げて流れ落ちる美しい姿を目にすることが出来る。

交通情報

▼起点：安居バス停（白浜町安居）
・運行頻度：1日10本以下
・明光バス㈱
TEL：0739-42-3008

▼終点：富田バス停（白浜町富田）
・運行頻度：1日10本以下
・明光バス㈱
TEL：0739-42-3008

注意事項

▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。

▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。

▼ゴミ・あき缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。

▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。

▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。

▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。

▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp

調製 株式会社 阪和測量設計 〒646-0216 田辺市下三栖1499-61 ☎0739-81-1955

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである（承認番号 平22近複、第68号）。